



**浅島 誠 (ASASHIMA Makoto)**

東京大学名誉教授  
東京理科大学 副学長・総合研究院院長  
日本学術振興会 顧問  
産業技術総合研究所名誉フェロー  
東京教育大学理学部卒業、  
東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。  
理学博士。

---

ベルリン自由大学分子生物研究所研究員、横浜市立大学文理学部助教授、横浜市立大学文理学部教授、東京大学教養学部教授、同大学院総合文化研究科教授、総合文化研究科長・教養学部長、理事・副学長 (2007～2009 年)、国際大学協会理事 (2008 年～)、日本学術会議副会長 (第 20 期、2005～2008 年)、日本学術振興会理事(2011 年 10 月～2015 年 9 月)。2015 年 10 月～東京理科大学特命教授、日本学術振興会学術顧問 (2015 年～)、産業技術総合研究所名誉フェロー。(2013 年～) 東京理科大学副学長 (2016 年 4 月～)、(財法)公正研究推進協議会・理事長

専門は発生生物学。「卵から幼生への形づくり」について実験形態学から分子生物学まで行っており、器官形成の発生生物学や 細胞の増殖と分化の分子生物学的研究を行っている。生物の分子発生プログラムと各器官形成に興味を持ち、1989 年に分化誘導物質であるアクチビンの世界で初めて同定し世界的評価を得た。実験材料でもあるイモリをこよなく愛する。年 2 回のイモリ採取は 35 年間欠かしたことがない。

主な著書に『発生とその仕組み』(共著、出光書店)、『現代の生物学』『生物学 24 講』共著、『発生生物学』(朝倉書店)、『現代の発生生物学-英語論文セミナー』共編、『発生のしくみがみえてきた』(岩波書店)、『分子発生生物学』(裳華房)『新しい発生生物学』(講談社)、『東大エグゼクティブ・マネジメント 課題設定の思考力』(共著、東京大学出版会)、など他多数。各種受賞や受章も多い。日本動物学会賞、井上学術賞、Man of the Year 1991 (USA. ABI)、木原記念学術賞、ジーボルト賞 (ドイツ政府)、東レ科学技術賞、持田記念医学薬学学術賞、内藤記念学術賞、有馬啓バイオインダストリー協会賞、上原賞、日本学士院賞、恩賜賞、紫綬褒章、比較腫瘍学常陸宮賞、エルビン・シュタイン賞 (2008)。リトアニア共和国外務大臣表彰 (2015)、2008 年度の文化功労者に選ばれた。